

事業番号	05 10 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	介護人材確保対策事業		部局	健康福祉部	課・室	介護支援課
			実施期間	H5 ~	E-mail	kaigo-shien@pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

急速な高齢化に伴い、介護サービス利用者が増加する中、令和7年（2025年）には、約4.1万人の介護人材が必要と推計している。県内の介護分野の有効求人倍率は2.42倍と全産業平均1.45倍（いずれも令和3年度）を上回っており、こうした中、今後、多様化する介護ニーズに対応するため質の高い介護人材の確保が求められる

2 事業目的

介護分野の人材不足の解消を図るため、新卒者、求職者をはじめとする多様な人材の入职と職場定着を促進するとともに、介護従事者に対して介護に関する知識・技術の普及を進め、質の高いサービスの提供を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①多様な人材の入职促進
 - ・常態化する介護業界の人材不足の改善を図るため、多様な人材の入职促進策として、資格取得支援・マッチング、職業紹介・就職相談会、福祉の職場体験、介護職を目指す者への資金の貸し付け等を実施
- ②介護職員の資質向上
 - ・医療と介護の連携をはじめ、多様化する介護ニーズを高齢者に提供するため、研修受講費支援、介護事業所に対する訪問研修、介護職員の医療的知識向上研修、外国人介護人材に対する日本語学習支援等を実施
- ③介護分野の職場環境改善の促進
 - ・将来的に不足が見込まれる介護職員数を確保するためには、介護職員の身体的・精神的負担の軽減、働き方改革を推進することが必要であり、介護ロボット・ICTの導入支援、施設内保育所への運営費支援、外国人介護人材受入のための住居借上支援、介護助手等導入による機能分化の促進等を実施
- ④福祉・介護に対する理解の向上
 - ・少子化による人材獲得競争が激化することが見込まれる中、将来的に介護業界の新たな担い手となる人材確保を図るため、福祉や介護の仕事の魅力ややりがいを直接伝えていく必要があることから、中高校生等のための訪問講座、職場体験等を実施

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	信州介護人材誘致・定着事業 直接雇用率	%	86	84	↘	横ばい	→	80	△	多様な人材の入职を促進することを目的に紹介予定派遣者数の8割を直接雇用することを目標として設定	
②	認知症介護従事者研修修了者数	人	654	877	↗	減少	↘	600	△	高齢者プランにおいて3年間（R3～R5）の累計を2,000人としていることから目標を設定	
③	介護ロボット・ICT導入支援事業所数（法人数）	件	12	82	↗	21	↘	50	△	高齢者プランにおいて3年間（R3～R5）の累計を150件としていることから目標を設定	
④	中高校生等のための訪問講座受講者数	人	3,162	4,943	↗	減少	↘	2,500	△	高齢者プランにおいて3年間（R3～R5）の累計を8,800人としていることから目標を設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築	介護職員数	万人	2019 (R1)	3.8	2020 (R2)	3.8	2021 (R3)	-	2026 (R8)	4.2

6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)	457,249		457,249		△	3.0
	(要求)	457,249		457,249	38,441		
R4年度	0	436,265	0	436,265	39,043	△	3.0
R3年度	0	322,831	△ 5,302	317,529	30,202	278,769	3.0
予算要求からの 主な変更点	要求どおり						

事業番号	05 10 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	介護人材確保対策事業		部局	健康福祉部	課・室	介護支援課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	介護人材確保対策事業		306,571 千円	420,862 千円	(予算案) 444,999 (要求) 444,999 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	入職促進	委託 補助金	多様な人材の入職促進のため、資格取得支援・マッチング、職業紹介・就職相談会、福祉の職場体験、介護職を目指す者への資金の貸し付け等を実施 直接雇用率80%以上、就職相談会8回開催、訪問講座参加者数2,500人、貸付予定者数80人		
2	資質の向上	補助金	介護職員の資質向上を図るため、研修受講費支援、介護事業所に対する訪問研修、介護職員の医療的知識向上研修、外国人介護人材に対する日本語学習支援等を実施 研修受講支援者数70人、訪問研修実施施設数300件、医療向上研修参加者数100人、日本語学習等支援者数30人		
3	労働環境・処遇の改善	補助金	介護職員の身体的・精神的負担の軽減、働き方改革を推進するため、介護ロボット・ICTの導入支援、施設内保育所への運営費支援、外国人介護人材受入のための住居借上支援、介護助手等導入による機能分化の促進等を実施 介護ロボ・ICT導入支援件数50件、施設内保育所補助6件、住居借上支援者数40人、機能分化等促進に係る支援件数1件		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	介護研修事業費		16,260 千円	15,403 千円	(予算案) 12,250 (要求) 12,250 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	・認知症介護基礎研修のフォローアップ研修 ・認知症介護実践研修 ・地域密着型認知症介護従事者研修	委託	認知症高齢者等の介護に従事する職員の資質向上を図るため、認知症介護の基礎的な知識・技術に関する研修、より実践的かつ認知症ケアの中核的役割を担うことができる者の養成のための研修、施設管理者等に対する、認知症介護等事業所の機能充実を図る研修等を実施 基礎研修のフォローアップ研修:2回、実践研修:7回、地域密着型研修:6回予定		
2	認知症介護指導者養成事業	委託	認知症介護に関する実践的研修を担える指導者を養成するため、指導者となる者に対する、研修プログラムの作成方法や教育技術の習得等に関する研修を実施 指導者養成研修：1回、フォローアップ研修：1回予定		